

【システム理工学部】2023年度前期履修登録のお知らせ

2023年度前期履修登録期間

後期成績確認期間	2月15日(水)12:00 ～3月1日(水)16:00
履修登録申請期間 後期の「自己評価授業アンケート」と 「気づきアンケート」が未回答の学生 は申請不可	在学生 4月3日(月)～4月5日(水) 新入生 4月4日(火)～4月5日(水)
抽選結果発表	4月8日(土) ※12:00までに順次発表します。
履修登録確認・修正期間 S*gsotで追加・削除が可能	4月8日(土)12:00～4月21日(金) ※4月16日(日)はメンテナンスのため操作できません。
夏季集中科目 削除申請期間 申請書提出で削除のみ可能	初回授業日の23:59まで

各種申請書の受付期間

他学部他学科履修	4月8日(土)12:00 ～4月21日(金)
・学外単位認定 ・「学外英語検定Ⅰ・Ⅱ」	3月30日(木)～4月5日(水)
東京理工系大学 特別聴講生	未定 別途ScombZにて周知

申請書は大学HPにてダウンロードが可能です。

メールでの申請を希望する場合は学生課にメールで問い合わせてください。

大宮学生課：ogakusei@ow.shibaura-it.ac.jp

2023年1月

S*gsotによる履修登録申請手順と注意事項

1. 履修申請

- 1-1. S*gsotにログイン後、メインメニューより【履修】→【履修申請】を選択。
- 1-2. S*gsotに表示されている「注意事項」「履修登録を始める前に」「簡単な使い方」をよく読み、履修を希望する科目を申請します。
 - ・ 申請できる科目は、検索画面（右上）より検索が可能です。
 - ・ 申請できる単位数は、S*gsot【履修】→【履修申請】の注意書き「詳しくは、こちら」から「履修登録単位数上限表」で確認してください。
 - ・ 同一科目が複数クラス開講されている場合、申請できるのは1クラスのみです。
 - ・ 一部の共通科目はクラスが指定されています。指定されたクラスが申請画面に表示されますので、表示された科目を申請してください。
 - ・ 上級学年の科目は履修できません。対象学年以上になれば履修できます。
 - ・ 一度単位を取得した科目の再履修はできません。単位を取得できなかった科目の再履修は可能です。再履修をする場合、翌年度以降登録してください。
 - ・ 2023年度以降入学生は、同一科目を年1回のみ履修登録が可能です。ただし、「総合研究I」「総合研究II」を除きます。（前期に履修登録した科目が不合格だった場合、同じ科目を後期履修登録することはできません。）

2. 履修申請後～履修申請結果発表

- ・ 履修登録申請期間中であれば、申請内容の変更は可能です。
- ・ 履修登録申請期間終了後、定員を設けている科目（共通科目）は抽選を実施します。
- ・ 履修申請結果は、結果発表日にS*gsot上で公開されます。【履修】→【履修登録（修正）】トップ画面より確認してください。

※学科により、結果が表示されるタイミングが多少前後する場合があります。処理の関係上、一部の履修データが発表より前にScombZに表示されることがありますが、最終的な結果は必ずS*gsotで確認してください。

3. 履修登録確認・修正期間

- 3-1. S*gsotにログイン後、メインメニュー【履修】→【履修登録（修正）】を選択
- 3-2-A. 履修削除：登録が完了している科目には【履修辞退】のボタンが表示されているので、選択して削除を完了させます。
- 3-2-B. 履修追加：履修追加が可能な科目には【先着順申込】のボタンが表示されているので、選択して登録を完了させます。【先着順申込】のボタンが表示されていない場合、その授業は定員に達しているため履修登録できません。ただし、定員に余裕ができると【先着順申込】ボタンが表示され、登録できるようになります。
- 3-3. S*gsotでの履修削除・履修追加は、翌日ScombZへ反映されます。

一度履修登録が完了した科目を他の曜日時限で再登録（移動）することはできません。削除した科目と同じ名称の科目を、別の曜日時限で登録することはできません。注意してください。

申請書による申請手順と注意事項

1. 学外単位認定

- ・ 学外単位等認定制度を利用して取得できる単位数は、60単位までです。
- ・ 他大学等での単位取得後に所定の申請書に、申請科目の成績証明書（取得教育機関発行の物）とシラバスを添付して申請してください。

他大学での履修科目も本学の開講期間と開講時期が重なる場合、履修単位上限に含まれます。事前にクラス担任の許可を得てから申請してください。

2. 「学外英語検定Ⅰ・Ⅱ」の単位認定

- ・ 各種英語検定試験の証明書類の提出と面接試験をもって学外英語検定Ⅰ/Ⅱ」で単位を認定されます。詳しくはシラバスを確認してください。
- ・ 面接試験は担当教員に個別に英文Emailで申し込んでください。
- ・ 面接試験受験後、成績が決定します。成績は各期の成績通知書で確認してください。
- ・ 面接試験を受験しなかった場合は不合格となります。

3. 他学部・他学科開設科目の履修

- ・ 在学期間中に他学部・学科科目履修を利用して取得できる単位数は30単位までです。
- ・ 抽選科目は、開講学科優先です。定員に達した場合履修できません。
- ・ 申請した科目の削除はできません。
- ・ 卒業要件算入可否などの審査結果は、後日、各自S*gsotで確認してください。
- ・ 所属学科ごとに履修についての条件が異なるため、申請にあたっては別表の自学科の条件を確認してください。
- ・ 履修を希望する場合は、授業担当教員および学年クラス担任の許可を得て、申請書を提出してください。

申請が認められた場合、履修制限単位数に含まれるので注意してください。

4. 東京理工系大学 特別聴講生

東京理工系大学による学術と教育の交流に関する協定に基づき、「特別聴講生」として、他大学の授業を受講できます。

特別聴講を希望する学生は、別途、豊洲学生課より案内を流しますので、ScombZのお知らせを確認するようお願いいたします。

学術・教育の交流に関する協定校(申請できる大学)

東京電機大学、東京都市大学、工学院大学

聴講料等の取扱について

聴講料、入学検定料、入学金等については免除。ただし、実験、実習等で特別にかかる費用は、実費徴収することがあります。

注意点

- ・ 学生課より各大学に履修申請手続きをし、1週間程度で履修の可否についての審査結果が通知されます。
- ・ 履修申請にあたっては事前に在籍学科の承認が必要です。履修が認められると履修単位上限に含まれます。
- ・ 単位認定には、受講終了後、学外単位認定の手続きが必要です(「1. 学外単位認定」参照)。東京理工系大学の特別聴講生として受講した場合も、学外単位等認定制度を利用して取得できる単位数の60単位に含まれます。取得単位の卒業要件算入可否は、在籍学科で決定されます。

2023年1月
大宮学事部学生課

【システム理工学部】 履修登録単位数上限について

学科・入学年度別履修登録単位数上限表

学 科	2020年度以降入学生	2018年度・2019年度入学生		2017年度入学生		2016年度以前入学生
		前期	後期	前期	後期	前期 ・ 後期
電子情報システム学科	半期25単位以下、年間50単位未満とする。 (前の期にGPA3.7以上の学生は、半期30単位以下とする。 前期に25単位を超えて履修登録したとき、前期GPAが3.7未満の場合でも、後期に25単位未満の履修登録ができる。) ※前の期:休学者は、休学直前の期のGPAを対象とする	半期30単位以下、 通年50単位未満とする。	半期30単位以下、 通年50単位未満とする。 (前期のGPA値 <u>3.4</u> 以上の学生は通年60単位未満とする)	半期30単位未満、 通年50単位未満とする。	半期30単位未満、 通年50単位未満とする。 (前期のGPA値3.0以上の学生はこの限りではない)	半期30単位未満、通年50単位未満とする。 (直近の半期のGPA値2.2以上の学生はこの限りではない)
機械制御システム学科			半期30単位以下、 通年50単位未満とする。 (前期のGPA値 <u>3.5</u> 以上の学生は通年60単位未満とする)			半期30単位未満、通年50単位未満とする。 (直近の半期のGPA値2.5以上の学生はこの限りではない)
環境システム学科			半期30単位以下、 通年50単位未満とする。 (前期のGPA値 <u>3.3</u> 以上の学生は通年60単位未満とする)	半期30単位以下、 通年50単位未満とする。	半期30単位以下、 通年50単位未満とする。 (前期のGPA値3.3以上の学生はこの限りではない)	半期30単位以下、通年50単位未満とする。 (直近の半期のGPA値2.6以上の学生はこの限りではない)
生命科学科			半期30単位以下、 通年50単位未満とする。 (前期のGPA値 <u>3.4</u> 以上の学生は通年60単位未満とする)		半期30単位以下、 通年50単位未満とする。 (前期のGPA値3.4以上の学生はこの限りではない)	半期30単位以下、通年50単位未満とする。 (直近の半期のGPA値2.6以上の学生はこの限りではない)
数理科学科			半期30単位以下、 通年50単位未満とする。 (前期のGPA値 <u>2.8</u> 以上の学生は通年60単位未満とする)		半期30単位以下、 通年50単位未満とする。 (前期のGPA値2.8以上の学生はこの限りではない)	半期30単位以下、通年50単位未満とする。 (直近の半期のGPA値2.0以上の学生はこの限りではない)

- 履修登録単位数制限は、全ての科目を対象とします。(「集中講義」、「学外英語検定Ⅰ・Ⅱ」を除く)
他学部・他学科・他大学での履修単位も制限に含まれます。他学部・他学科・他大学で履修をする場合は事前にクラス担任の許可を得てください。
※2020年度以前入学生は「自由科目」は制限対象外とします。

- 編入学、転部・転科者は学修の手引配当年度の欄を参照してください。

※上述の通り「履修登録単位数上限」が決められており、超過申請は認められません。教職課程登録者で申請を希望する学生は、教職課程教員に問い合わせてください。

2023年1月 大宮学事部学生課

2023年度 <他学部・他学科履修について> <別表>

所属学科の内容を確認のうえ、自学科の学年クラス担任または研究室の指導教員に履修について相談し、期限内に申請してください。

学 科	他学部・他学科履修および単位認定の目安
電子情報 システム学科	●基礎科目 …原則として、自学科で開講されている科目は、自学科で履修すること。 → 自学科の履修のみ可とする(他学科履修は認められない)。 ●システム・情報科目 …「情報処理Ⅰ・Ⅱ」「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」 → 自学科の履修のみ可とする。(他学科履修は認められない) ●専門科目 …既に他学部・他学科において取得済みの専門科目の単位と合わせて、その合計が10単位を超えない範囲とし、かつ学科がその必要性を認めたもの。 ◆P1クラスとP2クラスのクラス別履修条件 …原則として、P1クラスとP2クラスに分かれて履修する科目においては、 再履修においてもP1クラスとP2クラスの所属は変更せずに履修すること。
機械制御 システム学科	履修希望の授業担当教員に履修許可をもらう前に、必ず自学科の学年クラス担任または研究室の指導教員に履修について相談すること。 ただし、自学科に同様の科目がある場合には、基本的に他学部・他学科履修は認められない。
環境システム 学科	履修希望の授業担当教員に履修許可をもらう前に、自学科の学年クラス担任または研究室の指導教員に履修について相談すること。 ●基礎科目 …原則として、自学科で開講されている科目は、自学科で履修すること。 ただし、再履修する基礎科目が、履修を希望する専門科目と授業時間が重複する場合には、同一科目の基礎科目の他学科履修を認める。 ※ 履修する基礎科目の授業担当教員の許可を取ること。 ※ 他学科履修する基礎科目が環境システム学科において必修科目の時は必修科目として、選択科目の時は選択科目として認定し、卒業要件単位数に含める。 ●システム・情報科目 …「情報処理Ⅰ・Ⅱ」「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」 → 自学科の履修のみ可とする。(他学科履修は認められない)
生命科学科	履修希望の授業担当教員に履修許可をもらう前に、自学科の学年クラス担任または研究室の指導教員に履修について相談すること。 ●基礎科目 …原則として、自学科で開講されている科目を履修すること。 ただし、「必修科目」や「選択必修科目」など学科で指定した科目と重複している時に限り、他学科履修を認める。 ●システム・情報科目 …「情報処理Ⅰ・Ⅱ」「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」 → 自学科の履修のみ可とする(他学科履修は認められない)。 ◆コース別履修条件 ※ 生命科学コース(Na)と生命医工学コース(Nb)に分かれて履修する基礎科目においては、原則として自コースの授業を履修すること。 ただし、専門科目の「必修科目」など学科で指定した科目に限り、他コースの授業の履修を認める。 ※ 他コース履修において取得した単位の卒業要件への算入は、自コース履修と同様に算入される。
数理科学科	自学科に同様の科目がある場合は、基本的に他学部・他学科履修は認めない。 他学部・他学科履修をせざるを得ない場合は、履修希望の授業担当教員に履修許可をもらう前に、自学科の授業担当教員に履修の可否について相談のこと。 卒業要件に算入されない「自由科目」となる場合があるので、学年クラス担任に確認すること。

※ 他学部・他学科履修により取得した単位の卒業要件の算入については、学内審議の結果により認められない(自由科目となる)場合があります。